



日本林政ジャーナリストの会 令和4年度第3回勉強会

「都市木造の実現を目指して」 東京大学生産技術研究所教授 腰原幹雄氏

日時:令和4年10月12日(水) 16:30~18:30

場所:日本プレスセンタービル9F 日本記者クラブ会議室

令和3年6月に議員立法で「公共建築物等木材利用促進法」を改正した「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材利用の促進に関する法律」(通称:森林を活かす都市の木造化推進法)が制定され、都市における木造建築の推進の機運が高まっています。その背景には、2050年カーボンニュートラル目標の実現のための木材利用の促進の動きに加えて、CLT や高性能木造耐火など中高層木造建築物を可能にする技術開発の進展があります。今回の勉強会では、木造建築の第一人者である東京大学生産技術研究所の腰原幹雄教授に、木造建築技術の最先端の近況と、それが森林・林業・木材産業や山村地域とどのように関連するのかについてお話を伺います。

参加希望の方は、氏名、所属及び連絡先をご記入のうえで、**令和4年9月30日まで**に日本林政ジャーナリストの会幹事・事務局長の上河潔 (k.kamikawa@live.jp) までお申し込みください。



腰原幹雄氏:

1968年千葉県生まれ 1994年東京大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了 構造設計集団“SDG” 2001年東京大学大学院工学系研究科助手 2005年東京大学生産技術研究所助教授 2012年東京大学生産技術研究所教授 NPO法人team Timberize理事長